

改善報告書

令和元年 7 月 1 日

1. 大学名：甲子園大学

2. 認証評価実施年度：平成 28 年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：2-1

○栄養学部フードデザイン学科と心理学部現代応用心理学科の収容定員充足率が著しく低いため、充足率の向上について改善を要する。

4. 改善状況及び結果

基準項目 2-1 について

栄養学部フードデザイン学科の収容定員充足率は改善には至らず、根本的な見直しを行う。

心理学部現代応用心理学科の入学者は、平成 29 年度以降、増加に転じ、平成 31 年度は入学定員 60 名のところ 66 名が入学し、収容定員充足率は 70.4%まで改善した。

【資料-A】

各学科の改善に向けての施策、その他の取り組みを (1)、(2)、栄養学部フードデザイン学科の再編構想を (3) に記す。

(1) 平成 29 年度より 31 年度に向けて、各学科が行った施策は次の通りである。

- ① フードデザイン学科では、「人々の食を豊かにするプロフェッショナル」を養成することを明確に打ち出した。卒業後の進路として、「食品企業」「企業・学校」「地域」での活躍が期待できることを例も入れながら示した。また学生が実際に開発して、市場に流通している商品を紹介し、さらに特長的な授業を具体的な写真等を使って、案内書やホームページ等で紹介した。【資料 1-1】
- ② 現代応用心理学科においては、学習の体系を「基礎心理学」「臨床心理学」「健康・スポーツ心理学」「犯罪心理学」「ビジネス心理学」の 5 領域に再編した。「ビジネス心理」という全国的にもほとんど例のない分野の科目群を設定して、ビジネス領域でも心理学を活用できる卒業生を送り出す仕組みを構築した。さらに、公認心理師資格に対応する体制を整えた。【資料 1-2】

(2) その他の取り組み

○フードデザイン学科

- ・地元農家や協会、NPO 法人、企業との共同研究やメニュー開発といった実践的な学びを推進した。【資料 2-1, 2-2】
- ・料理研究家の土井善晴氏を客員教授として招聘し、その講義は一般の方にも公開した。【資料 2-3】

○現代応用心理学科

- ・従来の A0 入試に加えて、「イベント面談型 A0 入試」を導入した。【資料 2-4】
- ・精神科医の香山リカ氏を客員教授として招聘した。

○学生募集

- ・訪問先を厳選して頻繁に高校訪問を実施した。【資料 2-5】
- ・ホームページ等、広報を充実させた。【資料 2-6】
- ・オープンキャンパスの内容の充実を図った。【資料 2-7】
- ・「大学案内」のデザイン、コンセプトを刷新した。【資料 2-8】
- ・平成 29 年度に、入試センターに高校訪問のベテラン職員を、総務課に広報担当職員を配置して、入試広報をサポートする体制を整えた。さらに、平成 31 年度には退職高校長を入試センターに配置した。

○就職

- ・キャリアカウンセラー、産業カウンセラーを揃え、きめ細かな指導を徹底した。その結果、平成 29 年度、30 年度と 2 年連続で就職率 100%を達成した。
- ・平成 30 年 9 月に「週刊東洋経済」が発表した、「有名企業への就職率が高い大学ランキング」では全 400 校中 119 位にランキングされた。【資料 2-9、2-10】

- (3) 平成 30 年 11 月 22 日の甲子園学院理事会の決定で、「甲子園大学経営健全化プロジェクトチーム」を編成した。【資料 3-1】

専門家の意見も徴しつつ、フードデザイン学科の応えていくべき社会のニーズを正確に見極め、学科名の変更も含めて、どのような組織と教育内容をもって、それを実現していくかの根本的な検討をしている。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目 2-1 の資料

A 定員充足率等の推移

- 1-1 フードデザイン学科案内
- 1-2 現代応用心理学科案内
- 2-1 ソーラーシェアリング記事等
- 2-2 メニュー、開発メニュー記事等
- 2-3 土井善晴客員教授特別講義記事
- 2-4 募集要項
- 2-5 高校訪問先リスト
- 2-6 ホームページ抜粋
- 2-7 オープンキャンパスプログラム
- 2-8 案内書
- 2-9 平成 30 年 3 月進路状況月報、平成 31 年 3 月進路状況月報
- 2-10 週刊東洋経済 有名企業への就職率が高い大学ランキング（2018/9/14 発表）
- 3-1 甲子園大学経営健全化プロジェクトチーム設置要領